

全体目標

快適に水遊びができ、「江戸前」をはじめ多くの生物が生息する、
親しみやすく美しい「海」を取り戻し、首都圏にふさわしい「東京湾」を創出する。

(第一期の目標に赤線部を追加。「江戸前」とは、東京湾全体でとれる新鮮な魚介類と定義。)

第二期計画のポイント

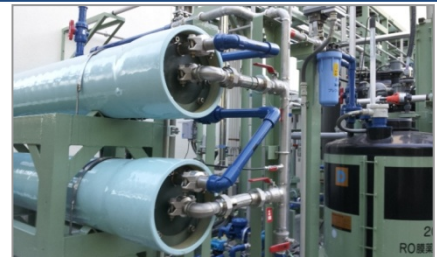
- 第一期期間において、流入負荷の削減や、干潟・浅場の造成等による生物種や個体数の増加等の改善が認められたものの、第一期計画の目標達成指標である「湾内の底層DO(溶存酸素量)」に明らかな改善傾向が認められなかったことを踏まえ、第二期計画は以下のとおりとする。
- ★ 東京湾の環境改善に向けた活動や行動の輪を拡げるため、企業、NPO、水産関係者、研究者、レジャー関係者、住民等東京湾に関わりをもつ多様な主体で構成される「東京湾再生官民連携フォーラム(仮称)*1」を設置し、推進会議への提言を担う組織とする。
- ★ 施策の効果を端的に評価できる場所を「アピールポイント*2」として7カ所を設定する。
- ★ 長期的視点で粘り強く取組を継続するとともに、できることをできるところから一つずつ環境改善対策を積み重ねる。
- ★ あらゆる興味を東京湾に引き付けられるよう、「評価指標*3」や手法を工夫する。

目標達成のための施策

陸域

- 水質総量削減の推進
- 污水处理施設の整備・普及
- 雨天時における流出負荷の削減
- 河川の浄化対策
- 面源から発生する汚濁負荷の削減
- 浮遊ゴミ等の回収 等

污水处理施設の整備・普及(高度処理)



海域

- 干潟・浅場・藻場等の保全・再生・創出
- 汚泥浚渫と覆砂の実施による底質の改善
- 過去の土砂採取等による深掘り跡の埋め戻し
- 生物共生型護岸への整備・改修
- 貧酸素水塊及び青潮発生メカニズムの解明及び有効対策の実施 等

生物共生型護岸の整備



モニタリング

- 東京湾水質一斉調査の実施
- モニタリングポストや海洋レーダー、調査船等による水質・底質調査、赤潮・青潮調査、生物調査等

東京湾水質一斉調査



*1東京湾再生官民連携フォーラム(仮称)の体制

東京湾再生推進会議

推進会議

■メンバー

行政(国・自治体)

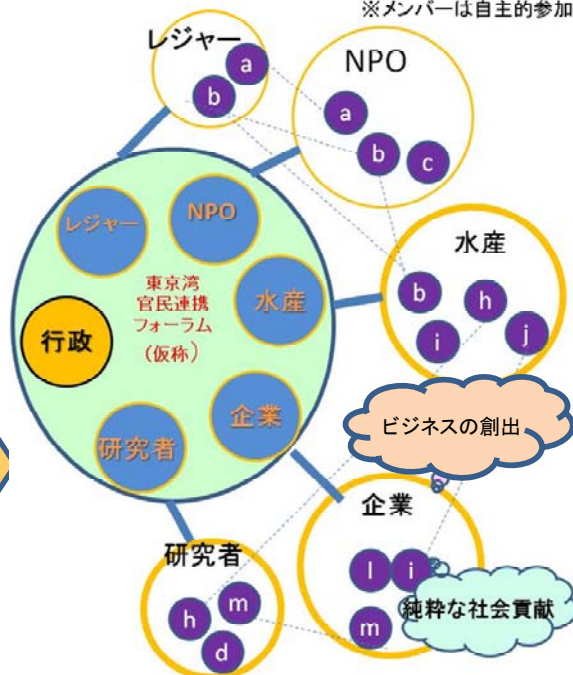
- ・目標の設定
- ・行動計画の策定(とりまとめ)
- ・全体の進捗について確認・検証
- ・先進的な取組の検討

提言

連携

東京湾再生官民連携フォーラム(仮称)

※メンバーは自主的参加



*2アピールポイント

お台場周辺

○施策

- ・三河島水再生センターの段階的
高度処理
- ・施設整備、芝浦水再生センター
に貯留施設
- ・増設と高速ろ過施設導入海浜の
清掃活動

多摩川河口周辺

○施策

- ・多摩川河口干潟生物調査
- ・多摩川等に干潟等の自然再生、
合流式下水道の改善、下水道未
接続排水の適正処理の推進、
等々力・入江崎水処理センター
の高度処理推進

みなとみらい21周辺

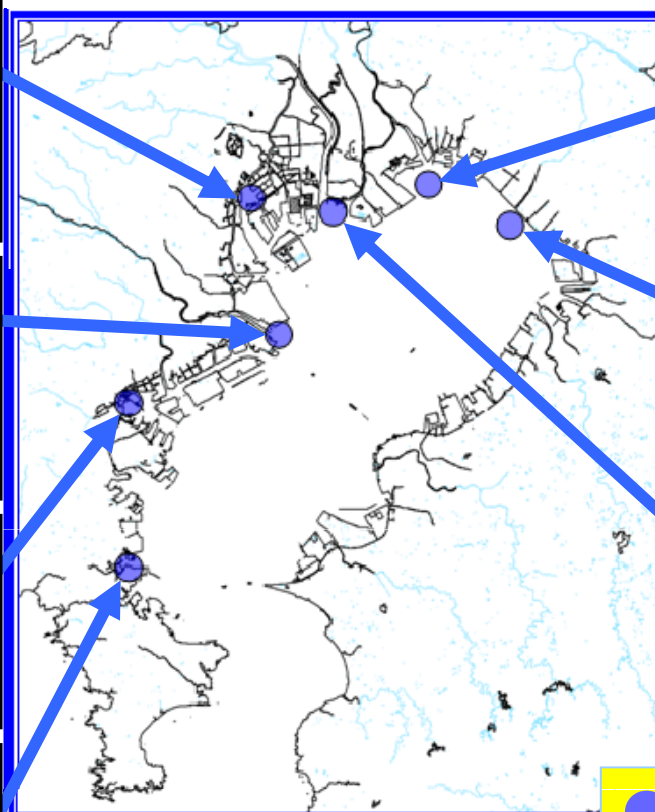
○施策

- ・清掃船による浮遊ゴミ回収、
NPO等による海底ゴミの回収、
- ・合流式下水道の改善
- ・神奈川水再生センターの高度処
理化

海の公園・八景島周辺

○施策

- ・清掃船による浮遊ゴミ回収
- ・合流式下水道の改善
- ・金沢水再生センターの高度処
理化



三番瀬付近

○施策

- ・情報発信・広報活動
- ・下水道幹線管渠整備、処理場施
設整備
- ・江戸川の浄化対策、湿地等の自
然再生
- ・NPOの活動を後援など

いなげの浜～幕張の浜付近

○施策

- ・合流式下水道改善
- ・南部・中央浄化センターへ高度
処理導入
- ・合併処理浄化槽へ転換促進
- ・高度処理型浄化槽の設置推進

葛西海浜公園周辺

○施策

- ・綾瀬川の浄化対策
- ・荒川の干潟等の自然再生
- ・荒川、新河岸川、中川水循環セ
ンター等の高度処理

●:アピールポイント

アピールポイントの考え方

施策による改善の効果について、身近に市民が体感・実感できるような場所であり、施策の効果が端的に評価できる場所でもある。

*3評価指標と目標、施策との関係(案)



注) 評価指標及び当該指標に対する数値目標等については、東京湾再生官民連携フォーラム(仮称)の議論等を踏まえ決定する。